

資料 9

その他

- ・ 地域未来交付金（地域未来推進型）について
- ・ 令和8年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について



門 真 市
Kadoma City

地域未来交付金（地域未来推進型） について



門 真 市

Kadoma City

地域未来交付金（地域未来推進型）について

地域未来交付金

地域未来 推進型

地方の大きな伸び代と地域特性を最大限に活かし、地場産業の付加価値向上等を通じて、地方の暮らしの安定を実現し、「強い経済」を構築するため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく地域独自の取組を、計画から実施まで後押しする



スタートアップ支援拠点の整備



地場産品の販売促進



温泉施設等観光拠点の整備



デジタル実装型

デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する取組を支援

書かない窓口



地域アプリ



オンライン診療



地域防災 緊急整備型

避難生活環境を抜本的に改善するため、地方公共団体の先進的な防災の取組を支援

地域産業構造転換 インフラ整備推進型

半導体等の戦略分野におけるリーディングプロジェクトの産業拠点整備等に必要な関連インフラの整備を支援

地域未来交付金（地域未来推進型）について

- 地方の大きな伸び代と地域特性を最大限に活かし、地方の暮らしの安定を実現するとともに「強い経済」を構築するため、地場産業の付加価値向上など、地方公共団体の地域独自の取組を幅広く支援する。
- 従来の地方創生に資する取組のみならず、各自治体による産業クラスター計画や地場産業の成長戦略が、真に地方の活力を最大化することに繋がるような取組を推進する。

◆制度概要

- 地方の暮らしの安定を実現し、各自治体による産業クラスター計画や地場産業の成長戦略が、真に地方の活力を最大化することに繋がるような、地方公共団体の地域独自の取組等を支援。
※地方版総合戦略に基づき、目指す将来像及び課題の設定等、KPI設定の適切性に加え、自立性、地域の多様な主体の参画等の要素を有する事業を支援。
- ソフト＋ハードや分野間連携の事業を一体的に支援
※申請の効率化を図る観点から、ハード・ソフトが一体となった事業も含め、一本の申請で受付。
- 事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体が参画
※多様な主体の参画による事業の進捗状況・効果測定を実施し、効果検証及び評価結果・改善方策の公表を行うこととする。

◆評価基準（S～Dの5段階評価）

目指す将来像及び課題の設定

KPI設定の適切性

自立性

地域の多様な主体の参画

事業計画期間		交付上限額・補助率
ソフト事業	原則3か年度以内 (最長5か年度)	1自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中枢中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
		1自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中枢中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
拠点整備事業	原則3か年度以内 (最長5か年度)	1自治体当たり事業計画期間中の総国費 都道府県：50億円 (単年度目安10億円) 中枢中核：20億円 (単年度目安4億円) 市区町村：10億円 (単年度目安2億円) 補助率：1/2等 (各省庁の交付要綱に従う)
		1自治体当たり事業計画期間中の総国費 都道府県：50億円 (単年度目安10億円) 中枢中核：20億円 (単年度目安4億円) 市区町村：10億円 (単年度目安2億円) 補助率：1/2等 (各省庁の交付要綱に従う)

(注1) 単年度の交付上限額は目安とする。

(注2) 拠点整備事業の1事業当たりの事業計画期間における交付上限額（国費）について、都道府県・中枢中核都市は15億円、市区町村は10億円を目安とする。

(注3) インフラ整備事業は、ソフト事業又は拠点整備事業との組み合わせを要件とする。

(注4) 広域リージョンとして複数自治体で実施する事業については、通常の申請件数・交付上限額の算定とは切り分けて取り扱い、1リージョンあたり申請可能な事業数は最大5事業、交付上限額（国費）は最大10億円/年度。複数の広域リージョンに参画することは可能だが、当該自治体が広域リージョンとして申請できる事業数は、それぞれ最大3事業までとする。

地域未来交付金（地域未来推進型）について

<令和7年度第2回募集>

事業分野（大項目）
地方経済の創生
生活環境の創生
人や企業の地方分散

<令和8年1月募集（新規事業）>

事業分野（大項目）	事業分野（詳細）
戦略産業クラスター 関連事業	「戦略産業クラスター」を目指す取組及びこれに関連する周辺的な取組 ※戦略産業クラスターとは、熊本の TSMC や北海道のラピダスを支えるクラスターのように、17の戦略分野に関する検討が主導する形で、企業の大規模投資を中心に形成されるもの
地域産業クラスター 関連事業	「地域産業クラスター」を目指す取組及びこれに関連する周辺的な取組 ※地域産業クラスターとは、地域主導で計画されるクラスターであって、複数自治体の連携促進や中堅企業支援等の適用など、政府の施策の戦略的活用をプッシュ型で提案していくことで、その形成・拡大を目指すもの
地場産業支援 関連事業	地場産業の付加価値向上や販路開拓等を支援し、地域経済の維持及び拡大を目指す取組及びこれに関連する周辺的な取組 地域未来戦略の推進を踏まえ、国民の暮らしと安全を守ることに資する取組

<令和8年1月募集（継続事業）>

事業分野（大項目）	事業分野（詳細）
強い経済	地場産業の付加価値向上や海外向けの販路開拓に向けた取組 産業クラスターの形成を目指す取組 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野 観光振興（DMO）等の観光分野 ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野 等
豊かな生活環境	日常生活に不可欠なサービスの持続可能な提供 小さな拠点分野 コンパクト・プラス・ネットワークの推進、まちの賑わいの創出、連携中枢都市、防災等のまちづくり分野 若者雇用対策 ワークライフバランスの実現 等
選ばれる地方	生涯活躍のまち分野 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野 等

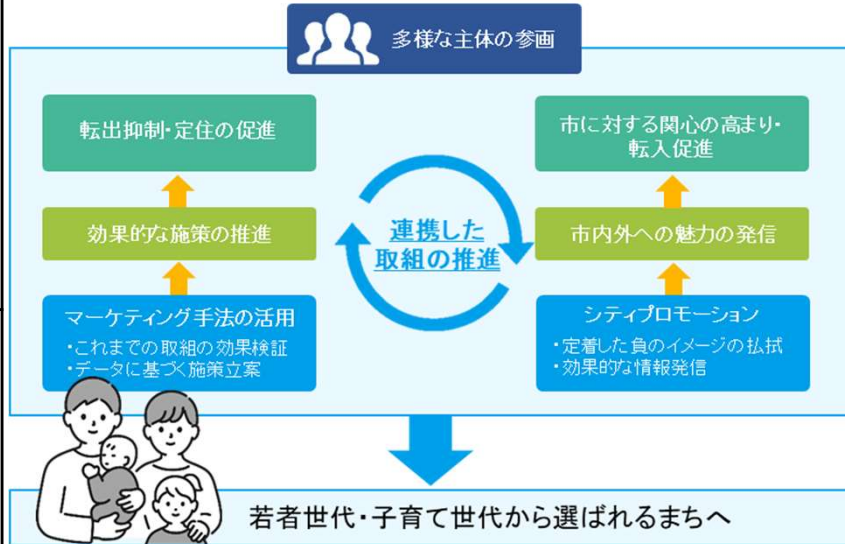
事業概要：【オール門真による「ものづくり」ブランディング事業】 ※令和 8 年度実施事業

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	127,232千円 (27,845千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野（大項目）	強い経済分野
目的・効果	・本市の基盤産業である「製造業」の活性化を図り、域外受注の獲得や域内受発注の連携、高付加価値化、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、雇用と所得の拡大を実現し、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。 ・本事業を通じて、受注機会の創出、人材確保、関係人口の増加が促進され、企業の収益力向上と地域経済の好循環が生まれることによる経済成長を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、上記目的を達成するために、市及び市内企業等が連携し、本市の基幹産業である製造業について、その魅力を更に向上させ、就労者並びに大手企業・進出企業に訴求可能なブランディング戦略を実行する。具体的には以下のソフト事業①から③を実施する。						
	【ソフト事業】 ①製造業としての「門真ブランド」の発信事業 ○機械要素技術展大阪への出展 ・展示会業務委託料：13,733千円 ・展示会会場借上料：8,360千円 ②「製造業で働く」魅力の向上と発信事業 ○企業の労働環境の向上や魅力向上・発信、カーボンニュートラル推進に資する取組等に対する補助金 5,700千円 ③「オール門真」での連携支援体制の構築事業 ・門真市ものづくり産業振興懇話会委員報酬：51千円 ・開催通知等通信運搬費：1千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額 (+165,350千円) ②支援を実施した事業所における従業者増加数 (+320人) ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数 (+158人) ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数 (+2,394人)					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されている URL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/36684.html (第28回機械要素技術展大阪) https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/24357.html (門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業補助金) https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/25502.html (門真市ものづくり産業振興懇話会) https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/monodukurikonwakai/30463.html (門真市ものづくり産業振興計画) https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35456.html (門真市地方創生検証委員会)

事業概要：「地域魅力Reブランディング」事業 ※令和8年度実施事業

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,617千円 (21,217千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	選ばれる地方
目的・効果	・戦略的なプロモーションにより、関係人口や交流人口の増加につなげる。 ・地域の歴史や文化を活かし、本市の個性や強みを引き出して、定住人口や関係人口の増加を促進するとともに「ものづくりのまち門真」のブランドを確立する。 ・市外でのイベントを活かし、ヒト・モノ・情報を集結させ、他都市や世界とのつながりを深め、新たな価値創造を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 門真市ふるさと大使による市内で活動を展開し、その内容を広く情報発信することで市への関心を高め、市民のシビックプライド醸成につなげるとともに、市域外でのイベントで展開した本市の魅力向上につながる取組を市内で継続的に行う。						
	【ソフト事業】 ・門真市ふるさと大使への業務委託料：9,910千円 ・オーケストラ演奏委託費：3,977千円 ・音楽サロン事業委託料：140千円 ・旅費（市内中学生バス代）：950千円（コンサート会場への移動費） ・会場借り上げ料：240千円 ・コンサート開催プロモート業務委託料：6,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（増加人数）（+138人） ②門真市公式SNSフォロワー数（+10,842人） ③門真市ふるさと大使による配信動画再生回数（331,000回） ④門真市ふるさと納税寄附件数（+76,130件）						
						URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

事業概要：マーケティング手法を活用したシティプロモーション推進事業 ※令和8年度実施事業

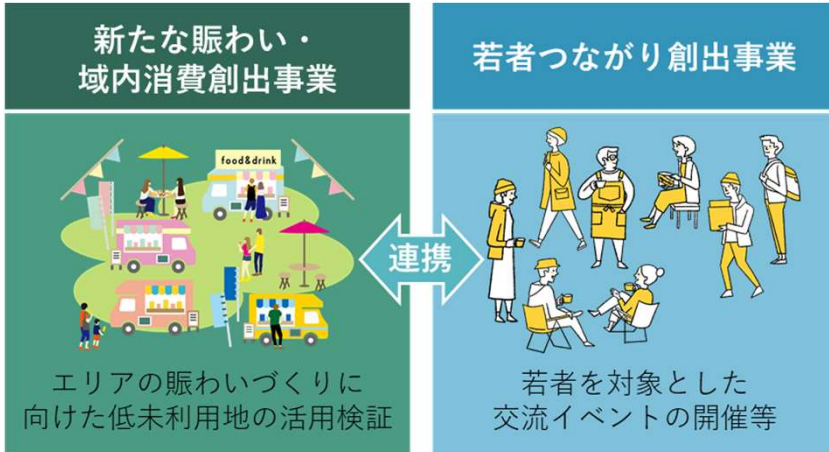
申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	67,858千円 (22,387千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	選ばれる地方分野
目的・効果	- 子育て世代に向けた様々な取組を実施してきたものの、転出超過を抑制できていないため、効果的な取組を進めるため、マーケティング手法を用いてこれまでの取組の効果検証及びデータ分析により子育て世代のニーズを正確に捉える。 - 消滅可能性自治体からの脱出を図るため、主に20代～30代の女性をメインターゲットとした効果的なシティプロモーションを行う。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 マーケティングの観点から、子育て世代への支援策の効果を検証するとともに、市の保有するオープンデータや子育てに関するデータの分析を進め、ターゲット層に向けた市の魅力を発掘や、各種SNS・マスメディア等を用いて魅力を発信し市の認知度を向上させるとともに、効果的なランディングツールを検討する。						
	【ソフト事業】 ・委託料 20,724千円 ・通信運搬費 129千円 ・印刷製本費 23千円 ・消耗品費 11千円 ・負担金補助及び交付金 1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20代から30代の女性人口（+100人） ②Instagramフォロワー数（+3,000人） ③Instagram投稿数（+300回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

事業概要：若者・女性が活躍できる地域の働き方等推進事業

※令和8年度実施事業

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,302千円 (34,349千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野（大項目）	豊かな生活環境
目的・効果	・消滅可能性自治体からの脱出を図るため、若者・女性にとって働きやすく魅力ある職場を地域に創出し、若者・女性の流出を防ぐとともに、若者・女性から選ばれるまちをめざす。 ・特に子育て中の女性など、就業意欲があるにもかかわらず、働きやすい条件や環境が整っていないことを理由に、職に就くことができない潜在的就労層と企業側のマッチングを進めることで、多様な人材が活躍し、性別や世代を問わず誰もが安心して暮らし、働き続けられるまちの実現を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、若者・女性にとって働きやすく魅力ある職場を地域に創出することで、若者・女性の流出を防ぐとともに、若者・女性から選ばれるまちになるための事業である。						
	【ソフト事業】 ◆人材確保対策事業 ・モデル事業者を好事例として横展開・マッチング機会の創出（委託料）12,949千円 ・子育て中の女性等を対象としたワークショップを開催（委託料）2,501千円 ・企業研修を開催（手数料）1,000千円（使用料及び賃借料）12千円 ・AI等を活用した採用戦略（委託料）6,820千円 ◆人材定着支援事業 ・エンゲージメント調査を実施（委託料）11,067千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20代から30代の女性人口増加数（+100人） ②市内事業所における新規雇用者数（+36人） ③市内事業所におけるインターンシップ受入数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

事業概要：かどま経済活性化・つながり創出プロジェクト ※令和8年度実施事業

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	142,728千円 (40,797千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地場産業支援関連事業
目的・効果	・若年層が日常的に集い、交流し、消費や活動を行う場を創出することで、市外への消費流出を抑制し、地域内でお金が循環する仕組みを構築する。 ・マーケット等を通じて地域事業者と消費者を直接つなぎ、販路拡大や新たな顧客層の獲得を促進することで、地場産業を含む地域経済全体の活性化を図る。 ・交流や経済参加を通じて若年層の地域への愛着と定住意識を高め、将来的な担い手・消費者を確保することで、人口減少下においても持続可能な地域経済の基盤を強化する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・再開発が進む駅前周辺エリアを主なフィールドとして、若年層をメインターゲットとしたマーケットやイベント等を実施し、日常的な賑わいと人の流れを創出することで、若年層が集い、滞在し、消費や交流を行う機会を増やし、域内消費の拡大と地域経済の活性化を図る。 ・若年層を対象に、出会いや交流の創出に加え、地域事業者や多様な人材との接点を設けることで、若年層の経済活動への参加と地域との関係構築を図るとともに、交流イベント等を通じて、結婚やキャリア形成に関するライフデザインの意識醸成を促すとともに、本市における仕事、消費、地域活動の実情に触れる機会を提供する。					 新たな賑わい・ 域内消費創出事業 若者つながり創出事業 エリアの賑わいづくりに 向けた低未利用地の活用検証 若者を対象とした 交流イベントの開催等	
	【ソフト事業】 ・エリアの賑わいづくりに向けた低未利用地活用検証（委託料）26,510千円 ・若者向け交流イベント等の開催（委託料）14,287千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20代から30代の人口増加数（+150人） ②若者つながり創出事業におけるイベント参加者数（+900人） ③居住意向変化（「門真に住みたい・住み続けたい」回答率の上昇）（+15ポイント） ④対象区域における民間主導のイベントの来場者数（+265人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

令和8年度物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金について



門 真 市

Kadoma City

令和 8 年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー）

事業名 総事業費 ※一般財源含む 概要	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付デジタル商品券発行事業 635,604,000円 ①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するため、申請のあった門真市に住民登録のある12歳以上の者に対し、門真市内で使えるプレミアム付デジタル商品券を発行することで、家計負担の軽減を通じた生活者支援と、市内の消費喚起による事業者支援を行い、地域経済の活性化を図る。 ②販売期間：令和 8 年 6 月29日（月）午前10時から 令和 8 年 8 月31日（月）午後11時59分まで （販売数200,000口、1人あたり2口まで購入可能） 利用期間：令和 8 年 6 月29日（月）午前10時から 令和 8 年12月25日（金）午後11時59分まで ③期間中のプレミアム分相当額（500,000,000円）	事業名 総事業費 ※一般財源含む 概要	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した子ども食費支援事業 76,945,000円 ①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するため、申請のあった門真市に居住する妊婦及び18歳以下の子どもにお米クーポンや食品セットを現物で給付することで、家計負担の軽減を通じた生活者支援と、市内の消費喚起による事業者支援を行い、地域経済の活性化を図る。なお、大阪府と子ども食費支援事業に係る協定を締結し、大阪府との共同実施のもと、大阪府が構築したシステム（子ども・若者食費支援事業システム）を活用して事業を実施する。 ②令和 8 年 3 月より市内に居住する妊婦及び18歳以下の人へ配付 ③期間中のお米クーポン等分相当額（73,615,000円）
事業名 総事業費 ※一般財源含む 概要	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した高齢者おでかけ応援事業 234,529,000円 ①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するため、門真市に住民登録のある65歳以上の者にギフトカードを送付することで、家計負担の軽減を通じた生活者支援と、市内の消費喚起による事業者支援を行い、地域経済の活性化を図る。 ②令和 8 年 2 月より順次、令和 8 年 1 月 1 日現在、市内在住の65歳以上の高齢者（生年月日が昭和36年4月1日以前）に対し、5,000円分のギフトカードを簡易書留郵便で送付する。 ③対象の高齢者に対してR8年 3 月までにギフトカードを送付する。	事業名 総事業費 ※一般財源含む 概要	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した中学校給食費無償化事業 107,769,000円 ①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者（子育て世帯）を支援することを目的に、保護者が負担すべき中学校における学校給食費を全額無償化することで、保護者の経済的負担の軽減をはかる。なお、教職員分の給食費は除く。 ②期間：令和 8 年 4 月より開始 ③学校給食費に係る保護者への影響 0 %